

## 第4章. 工業用水道編



## 1 事業の経緯

昭和59年12月	通商産業省に「富士町工業用水道事業」として事業届を提出
昭和60年8月	供給開始
平成19年2月	取水井戸の水位低下により送水停止。その後の調査により、取水井戸の最大可能揚水量が、操業当時の1,800m <sup>3</sup> /日から、352m <sup>3</sup> /日～267m <sup>3</sup> /日に低下していることが判明。これ以降、井戸水位低下による送水停止は起こっていない。
平成24年2月	配水池を新築移転し、有効貯水量を100m <sup>3</sup> から300m <sup>3</sup> に増加
平成27年4月	市長部局から佐賀市上下水道局へ事業移管

## 2 現在の給水状況

- 給水能力 1,000m<sup>3</sup>/日
- 基本料金 30円/m<sup>3</sup> ※超過料金(基本使用水量超過分)40円/m<sup>3</sup>
- 供給先企業 3社

	企業名	基本使用(契約)水量	製造品	工業用水利用目的
1	三菱ガス化学(株)	120.0m <sup>3</sup> /日	超純水	製造品の原料
2	岩谷瓦斯(株)	100.8m <sup>3</sup> /日	水素ガス	製造品の原料
3	(株)プロセス・ラボ・ミクロン	100.0m <sup>3</sup> /日	メタルマスク	製造品の製造、機械の冷却等

### ○給水量

事項	単位	27年度	28年度	増減	比率(%)
年間給水量	m <sup>3</sup>	39,927	40,814	887	102.2
一日平均給水量	〃	114	112	△2	98.2

## 3 施設位置図



#### 4 浄水場施設

##### 富士工業用水道浄水場

主 要 施 設		規 格 ・ 規 模	
取水施設	取 水 井	RC造り 2.6W×2.6L×2.0H(浅井戸)	
	取 水 ポ ン プ	水中ポンプ φ80mm×2段×3.7kw Q=1075m <sup>3</sup> /日	2台
浄水施設	着 水 池	RC造り 1.2m×0.9m×2.0m 有効容量 2.16m <sup>3</sup>	1池
	薬 品 混 和 池	RC造り 1.2m×1.2m×1.7m 有効容量 2.45m <sup>3</sup>	1池
	フ ロ ッ ク 形 成 池	RC造り 2.0m×2.0m×2.0m 2段 有効容量 13.6m <sup>3</sup> /池	2池
	薬 品 沈 殿 池	RC造り 2.0m×5.5m×3.2m 有効容量 35.2m <sup>3</sup> /池	2池
	送 水 ポ ン プ 井	RC造り 5.0m×4.0m×2.3m 有効容量 46.0m <sup>3</sup> /池	1池
	ポ ン プ 薬 注 室	RC造り 5.0m×7.0m 面積 35m <sup>2</sup>	1棟
	薬 品 注 入 設 備	PAC及び苛性ソーダ灰	1式
	電 気 計 装 設 備		1式
送水施設	送 水 ポ ン プ	多段タービンポンプ φ80×4段×15kw Q=1000m <sup>3</sup> /日	2台
	送 水 管	ダクタイル鋳鉄管・水道用塗覆装鋼管・硬質塩化ビニル管 φ200・φ150 L=761m	
配水施設	配 水 池	RC造り 10m×5m×3m 有効容積 300m <sup>3</sup>	2池